

**製品名: Src ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21265**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:60kD;Observed MW:60kD

**抗原情報**

遺伝子名	SRC SRC1
別名	Proto-oncogene tyrosine-protein kinase Src;Proto-oncogene c-Src;pp60c-src;p60-Src;
遺伝子 ID	6714.0
SwissProt ID	P12931
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

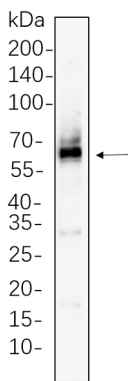
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子はラウス肉腫ウイルスの v-src 遺伝子と非常に類似している。このプロトオンコゲンは、胚発生お

よび細胞増殖の調節に関与している可能性がある。この遺伝子がコードするタンパク質はチロシンタンパク質キナーゼであり、その活性は c-SRC キナーゼによるリン酸化によって阻害される。この遺伝子の変異は、大腸癌の悪性化に関与している可能性がある。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする2つの転写産物バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Hela 細胞全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Src ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。